

2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 資金分配団体公募 採択事業

事業名 主題	子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成
事業名 副題	～神奈川の子どもたちの育ちと未来を守りたい～
対象地域	神奈川県
団体名	特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド
代表者名	理事長 坂井 雅幸
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動を対象領域とし、① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援、② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援、③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援のほか、ひとり親家庭や外国籍の親子等への情報支援など、コロナ禍のもとで神奈川の子ども・若者や子育て家庭の抱える課題の解決を目指す事業
事業の概要	神奈川県内の子どもの居場所事業など、子ども・若者、子育てに関わる活動が、コロナ禍のもとで、その目的役割を発揮し、事業を維持発展できるよう、感染や三密を避けるための取組みの工夫や換気対策などの環境整備、利用ニーズの増加への対応等を促し、支援するため、必要な資金助成を行う。 実行団体の募集に当たっては、団体の活動内容や活動環境などが多様であることを踏まえ、団体の実情に応じた自発的な取組みの提案を求める。
事業期間	1年
助成額 (円)	13,266,160

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに係わるテーマに特化した県域ファンドの強味がある。課題設定が抽象的で、手段との関係が読み取れないため、当該団体の実行力を踏まえた、具体的な課題設定が望ましいと感じます。 ・支援施策イメージと助成額の想定規模感が合致しません。 ・過去の助成実績を考慮すると、適切かつ実効的な資金分配ができるか懸念が残ります。研修への参加を通じたPOの育成や助成経験から学ぶ姿勢を持ち、実施体制の強化を図ることが必要と考えます。 ・テーマに特化した、県域ファンドの強みをいかして企画された助成プログラムとしてJANPIAのプログラムオフィサーとも連携いただき事業を展開されることを条件として事業実施をお願いしたいと思います。
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2020年7月初旬）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2020年8月下旬）のものです。